

筆まつりの歴史

筆の里くまので生まれた筆まつり。昭和10年から始まり、人々が積み重ねてきた思いと歴史が詰まっています。

【筆まつり】  
熊野商工会発足10年を記念して9月24日に第1回筆まつりが開催されました

【筆踊り】  
作詞を野口雨情、作曲を藤井清水に依頼し、振付を藤本嬢に依頼しました。依頼を受けた3人は熊野を訪れ、歌と振付を作成しました。そして完成した「筆踊り」は、第2回筆まつりで約600人の女性により披露され、現在まで伝わっています。

スcoop!

昔の前夜祭の様子

近年の筆祭りの前夜祭は榊山神社で行っていますが、昔の前夜祭は旧熊野町役場前で行っていました。催しも「変装競演」「ステージ披露」「彼岸船」「子供たちの出し物」など盛り沢山。今回は平成2年前夜祭の様子をご紹介します。



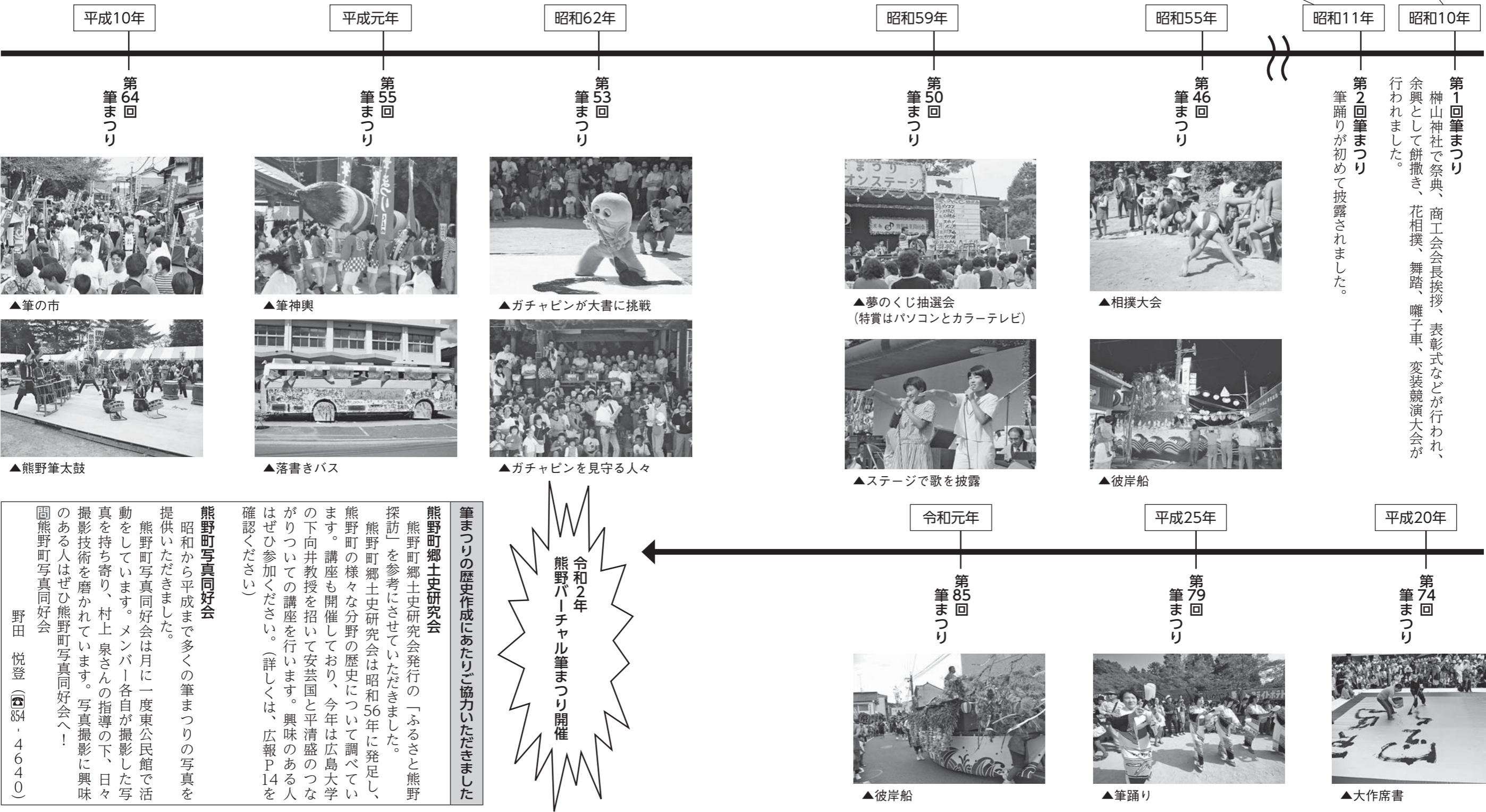
▲スポーツカーでパレード



▲園児たちの可愛いダンス



▲気合の入った変装競演



**熊野町郷土史研究会**  
熊野町郷土史研究会発行の「ふるさと熊野探訪」を参考にさせていただきました。  
熊野町郷土史研究会は昭和56年に発足し、熊野町の様々な分野の歴史について調べています。講座も開催しており、今年も広島大学の下向井教授を招いて安芸国と平清盛のつながりについての講座を行います。興味のある人はぜひ参加ください。(詳しくは、広報P14を確認ください)

**熊野町写真同好会**  
昭和から平成まで多くの筆まつりの写真を提供いただきました。  
熊野町写真同好会は月に一度東公民館で活動しています。メンバー各自が撮影した写真を持ち寄り、村上泉さんの指導の下、日々撮影技術を磨かれています。写真撮影に興味のある人はぜひ熊野町写真同好会へ！  
熊野町写真同好会  
野田 悦登 (☎854・4640)